

反社とは「イコール暴力団」ではないんだ

その説明の前に…宇田川さんは「反社会的勢力」ってどんな対象を指すか分かる？

え？ そりゃ暴力団の構成員でしよだいたい見たら分かるような…

う〜ん そこからして甘い…

一般人

反社会的勢力

〈属性要件〉暴力団準構成員・元構成員・総会屋・フロント企業・政治/社会活動標榜ゴロ・特殊知能暴力集団・企業ゴロ・事件屋 など

〈行為要件〉暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当要求、詐術、業務妨害、信用等の毀損行為 など

暴力団構成員

共生者・密接関係者・密接交際者・反市場勢力・半グレ集団
→反社と人的・経済的に深い関係にあるもの

今や暴力団は不透明化が進んでいて一見一般人と見分けがつかなくても準構成員や共生者と呼ばれるような人的・資本的に暴力団と深い関係にある者もいる

そうした者をすべて「反社会的勢力」として取り扱うべきなんだそしてそうした人物は見た目や表面的な要件だけでは判断できないことが多い

それだけに 自行庫や業界で反社として要注意登録された顧客ではないか照会できるデータベースの活用は必須だ政府指針でも各金融機関のデータベースの一層の充実が呼びかけられているからね

ただしデータベース上にあるのははつきり反社だと判断される者の情報がほとんどだ警察のデータベースも含め反社かどうか疑われる者については登録が難しい

つまりデータベースだけでは反社との取引排除は達成できないというわけ!

そういうことなのね…

その例を挙げるまでもなく今やどの金融機関でも反社対策が課題になっているが君には行職員として認識が足りていないとみえる

今日は反社との取引排除について誤解しがちな点や認識しておいてほしいことを伝えに来たよ!

よしよ むくり 排除の化中!

反社との取引排除はそう単純なものではないよ!

最近 金融機関の暴力団への不正融資が話題になっただろう?

早速だがポイントその1!

「データベースがあれば 反社対策は万全」は誤解である